

声

金屋中・2 後藤 希実

自分の声が嫌いだ
小さくて、低くて
届かない

家族と話をしているとき
私の声が小さくて聞き返された

「なんでもない」
と言って
話の続きをすることを諦めてしまう

友達と話していても

「ん？」
と聞き返されるけど
「なんでもない」

と言って
話の続きをすることを諦めてしまう
別に、

もう一度話すことでもないし……

別に、
おもしろい話をするわけでもないし……
と頭の中で

ぐるぐると考えてしまう
結果、「なんでもない」に行きついてしまう

何回も聞き返されることが怖い

「こいつ、声小せえ、聞こえねえ」
って思われたら、嫌だな……怖いな……
という恐怖心から
話したくなくなってしまう

を減らせるように

自分の声が小さいことが悪いって
分かっている

分かっているんだよ
だけど

声が小さくなってしまう

しゃべりたくなくなってしまふ

「声なんてなくなっちゃえ！」
とも思ってしまう

「なんでもない」と

言ってしまうけれど
本当の気持ちは

聞いてほしい

伝えたくないわけじゃない

伝えたい

伝えることができたらうれしい

だから

私は頑張って声を出す

いつもより

少しだけ大きな声を出して

少しだけ頑張ってみる

「なんでもない」